

## 国東オリーブに新たな参入企業！

東部振興局生産流通部  
佐藤幸生、渡邊久美子

「国東オリーブ」のブランド化を図っている国東市において、福岡市のキュウセツAQUA(株)が「国東オリーブ農園」を開設し、3月に10haの新植が完了しました。これまで、国東市のオリーブ栽培面積は8.2haでしたが、今回の新植により2倍以上に拡大しました。

農業団地は元々、農林水産省の常緑果樹研修所で、閉鎖後の平成26年度に市が国から譲り受けたものです。市が「国東市農業団地」として整備し、参入企業を広く募集したところ、同社を含む3社が立地しています。

振興局では、国東市やJAおおいた等の関係機関と連携し、立地企業に対し参入当初より経営計画や造成・機械整備事業、栽培技術や鳥獣害対策等の支援を行ってきました。

キュウセツAQUA(株)では、オリーブの生産だ

けでなく、将来的には搾油加工場や展望レストランを整備する計画です。関係者は、広大なオリーブ観光農園としての集客効果と国東市農業の拠点としての発展を期待しています。

4～5年後には初収穫を迎えることになります。今後も参入企業の育成を図りながら地域特産品である「国東オリーブ」の産地振興を支援して行きます。



国東市農業の拠点として期待される国東オリーブ農園

## 姫島の新名物！

### 「幻の2日ひじき」が「ニッポンアワード2016」を受賞！

東部振興局農山漁村振興部  
波多野 良介

姫島村の「(株)おおいた姫島」の商品「幻の2日ひじき」が、農林水産省主催の「フード・アクション・ニッポン・アワード2016」を受賞したことを受け、12月26日に知事への受賞報告を行いました。

ヒジキ漁は、通常、春に行われますが、姫島村では、冬と春の2回、漁が行われます。

冬の漁を寒ヒジキ漁といいますが、資源管理のため2日間のみ解禁されます。

この2日間で刈り取られた寒ヒジキは、漁業者自らが、昔ながらの伝統的手法により、薪で火を起し、大釜でじっくり炊き上げた後に、天日で干し上げます。

このようにして製造された寒ヒジキは、驚くほど柔らかく、「シャキシャキ」とした独特の食感があり、一般的な煮付け料理はもちろんのこと、

水で戻すだけでサラダとして、美味しくいただけます。

「(株)おおいた姫島」は、この寒ヒジキを「幻の2日ひじき」の商品名で全国の百貨店等を通じて販売し、高い評価を得ており、これが今回の受賞につながりました。

振興局では、姫島のヒジキを多くの方に味わってもらえるよう、姫島村と連携して、漁業者が行うヒジキの増殖活動を支援していきます。



## 寒原地区治山工事が完成

東部振興局農林基盤部  
日隈 宏隆

平成28年12月に別府市南立石の寒原地区の治山工事が完成しました。

平成24年7月の九州北部豪雨により、寒原地区の鶴見岳南側山腹面を流域とする箇所では土石流が発生し、下流域の別府ロープウェイ駐車場や県道別府一の宮線に多量の土石が流出しました。

また、溪流内にも不安定土砂が堆積した状態となっており、下流域の保全を図るため早急な復旧が望まれていました。

工事箇所は鶴見岳登山道と隣接しており、安全対策として木製の柵を設置し、サクラやモミジの植栽も行いました。

年間を通して多くの登山者が利用しており、毎年4月には一気登山も行われることから、より多くの人に治山施設を見てもらい、安心・安全を感じてもらえればと思っています。



上段：治山工事完成後  
左下：被災時の状況